

イラン

主要データ

国名〔英名〕	イラン・イスラム共和国〔Islamic Republic of Iran〕
面積(km ²)	1,648,195
海岸線延長(km)	2,440
人口(百万人)	80.8
人口密度(人/km ²)	49.0
GDP(十億 US\$)	393.5
一人当り GDP(US\$)	4,982.73
主要鉱産物：鉱石	鉄鉱石、鉛、亜鉛、銅、クロム、マンガン、モリブデン
主要鉱産物：地金	銅、鉛、亜鉛、アルミニウム
鉱業管轄官庁	産業鉱山貿易省(Ministry of Industry, Mine and Trade)
鉱業関連政府機関	イラン鉱業協会 (Iranian Mining Engineering Organization, IME)、イラン地質調査所 (Geological Survey of Iran)、イラン商工鉱業農業会議所 (Iran Chamber of Commerce, Industries, Mines & Agriculture, ICCIMA)
鉱業法	Mining Act(2013)
ロイヤルティ	-
外資法	Foreign Investment Promotion and Protection Act, FIPPA(2002)
環境規制法 (環境影響調査制度、環境・排出基準の有無等)	-
国営鉱業企業・鉱業公社	イラン鉱山鉱業開発機構 (Iranian Mines and Mining Industries Development and Renovation Organization, IMIDRO)、銅鉱山公社 (National Iranian Copper Industries Company, NICICO)、国営鉄鋼公社 (National Iranian Steel Company, NISCO) 等
鉱業活動中の民間企業	Iran Zinc Mines Development Company、Bagh Darreh Mining Cooperative Co 等
近年の鉱業関連問題 (資源ナショナリズム、労働争議、環境問題等)	特になし
2014年のトピックス	・2013年8月に保守穏健派のロウハニ師が大統領に就任して以降、核問題が進展し、2013年11月に主要6ヶ国との間でジュネーブ合同行動計画に合意、2015年7月に最終合意に達し、同年10月に核合意を採択した。これにより2016年春以降に対イラン経済制裁が解除される可能性が高まっている。

1. 鉱業一般概況

イランは、北アフリカ中東地域において、サウジアラビアに次いで第2位の経済大国であり、人口もエジプトに次いで第2位の規模にある。しかしながら、核開発問題により国際社会から制裁措置を受け、2012年のGDP成長率は-6.6%、2013年には-1.9%と持ち直したものの、いずれもマイナス成長であった。2013年下期以降、核開発問題が改善に向け進展し、2014年のGDP成長率はプラスに転じて1.5%となっている。

産業鉱山貿易省は、鉱業、製錬業、精錬業(石油を除く)を所管し、下部組織として IDRO (The Industrial Development & Renovation Organization) 及びイラン IMIDRO の 2 組織がある。産業関係は IDRO、鉱山関係は IMIDRO が管轄している。なお、地質データの管理はイラン地質調査所が所掌している。イランは中東地域では群を抜く鉱産国であり、IMIDRO によれば、鉄鉱石、石炭、金、鉛、亜鉛、銅をはじめ 68 種もの鉱物が賦存しているとして、その価値は 7,000 億 US\$ に上るとしている。また、鉄鉱石に関しては、世界で 9 位の生産国であり、鉄鉱石埋蔵量は 27 億 t で世界埋蔵量の 1% を占める。銅の埋蔵量は 26 億 t で世界の 4%、亜鉛埋蔵量は 1,100 万 t で世界の 4% を占め、加えて、金についても 250t の埋蔵量があるとしている。

IMIDRO は外国投資を促進しており、外国企業との JV 事業やまた JV 企業への出資も行っている。2001 年以降、69 プロジェクトに 170 億 US\$ を投じており、近年では 29 プロジェクトが開発中で 90 億 US\$ を投じたとしている。なお、銅鉱山公社 NICICO によれば、同社の銅生産量は 2015 年に 25 万 t、2016 年には 30 万 t、2017 年から 2018 年にかけて 40 万 t まで拡大するとしている。

2. 鉱業政策の主な動き

イランは、核開発問題により米国をはじめ国際社会から制裁措置を受けていたが、2013 年 6 月の大統領選挙で当選した保守穏健派のロウハニ師が 8 月に大統領に就任して以降、核開発問題の解決に意欲を見せ、核交渉が大きく進展した。2013 年 11 月には国連安全保障理事会の常任理事国 5 カ国及びドイツの 6 カ国との間で暫定合意に達し、ジュネーブ合同行動計画において濃縮ウランの製造停止、ウラン濃縮可能な核施設への査察受け入れ等の見返りとして経済制裁の緩和を受けることとなった。これを受けて 2014 年 1 月から EU では一部緩和されている。その後 2015 年 7 月には 6 カ国との間でイランによる核開発の大幅な縮小に最終的に合意に達したことから、2016 年春にも対イラン経済制裁の解除が始まる可能性がある。

同国では国力増強に向けて、第 5 次国家開発計画 (2011 年～2015 年) において鉱物資源の生産拡張を目標に掲げている。IMIDRO によれば、2025 年までに生産能力を鉄鋼 5,500 万 t、銅地金 80 万 t、アルミニウム 150 万 t、亜鉛 30 万 t、金 5t まで増強するとしている。なお、これらの達成には 4,000 億 US\$ の投資が必要とされており、経済制裁解除を前に各国政府及び企業との間で投資協力の協議が活発化している。

同国の鉱業法は 1998 年に制定され、その後 2011 年と 2013 年に改正がなされた。探鉱権及び採掘権は産業鉱山貿易省が所掌している。なお、外国企業及び個人による探鉱権及び鉱業権の取得に制限はなく、ロイヤルティ率については案件ごとに決定される。外国投資に関しては外国投資誘致保護法 (Foreign Investment Promotion and Protection Act, FIPPA) によって保護されている。

3. 主要鉱産物の生産・輸入・消費・輸出動向

(1) 主要金属鉱石生産量

表 3-1. 金属鉱石生産量

鉱種	2012 年 (千 t)	2013 年 (千 t)	2014 年 (千 t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
銅	245.2	222.7	199.4	-10.5	1.1	16
鉛	35.6	40.1	45.6	13.8	0.8	12
亜鉛	138.0	134.0	139.0	3.7	1.0	16
ボーキサイト	600.0	900.0	900.0	0.0	0.3	19
クロム	447.8	427.5	494.3	15.6	1.7	8
マンガン	172.6	135.0	135.0	0.0	0.3	16
モリブデン	3.0	3.0	3.1	2.1	1.0	9
鉄鉱石	45,717.4	48,690.0	51,573.5	5.9	1.6	9

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2015)

(2) 主要金属地金生産量

表 3-2. 金属地金生産量

鉱種	2012年 (千t)	2013年 (千t)	2014年 (千t)	対前年増減比 (%)	世界シェア (%)	ランク
亜鉛	148.0	140.0	142.0	1.4	1.0	20
鉛	93.7	76.0	66	-13.2	0.8	12
電気銅	269.2	224.1	240.0	7.1	0.8	23
電気銅 (SxEw)	12.5	13.7	11.9	-13.1	0.3	13
アルミニウム	336.5	331.9	302.0	-9.0	0.6	21

(出典: World Metal Statistics Yearbook 2015)

(3) 主要金属消費量

僅少

(4) 主要金属輸出量

表 3-3. 金属地金消費量

鉱種	2012年 (千t)	2013年 (千t)	2014年 (千t)	対前年増減比 (%)	主な輸出相手国
銅地金	95	52	-	-	トルコ、中国
鉛鉱石	35	22	34	54.5	中国、インド
亜鉛鉱石	23	25	14	-44.0	中国

(出典: Copper Bulletin May 2015, World Lead and Zinc Statistics May 2015, International Trade Centre)

(5) 主要金属輸入量

僅少

4. 鉱山・製錬所状況

表 4-1. 鉱山一覧

鉱山名	権益所有企業(%)	鉱種	生産量 (千t)	備考
Sarcheshmeh Complex	NICICO	銅 モリブデン	670 8	生産能力
Sungun	NICICO	銅 モリブデン	150 3	生産能力
Miduk	NICICO	銅	150	生産能力
Angouran	Iran Zinc Mine Development Co	亜鉛	500	生産能力
Irankouh Complex	BAMA Co	亜鉛	190	生産能力
Koushk	Bafgh Mining Co	亜鉛	120	生産能力
Emarat	Ber-Oner Tehran Co	亜鉛	100	生産能力
Daregaz Placer and Kahnuj Titanium Dioxide plant	IMIDRO	チタン	-	
Faryab	Faryab Mining Co.	クロム	180	生産能力 (推定)
Jajarm	Iran Alumina Co	ボーキサイト	500	生産能力
Esfahan	Isfahan Steel Co	石炭	900	生産能力
Saghand	Atomic Energy Organization of Iran	ウラン	50	生産能力 (推定) 2013年 Q2 より生産開始

(出典: USGS Minerals Yearbook 2012、他)

表 4-2. 製錬・精錬所生産状況

製錬所名	権益所有企業(%)	鉱種・形態	生産量(千t)	備考
Sarcheshmeh Copper Smelter	NICICO(100)	銅	158	生産能力
Sarcheshmeh Copper Refinery		銅	210	
SXEW		銅	14	
Khatoon Abad refinery	NICICO(100)	銅	80	生産能力
Bandar Abbas	Almahdi Hormozal Aluminum Co	アルミニウム	257	生産能力
Bandar Abbas	Calcimine (Iran Zinc Mine Development Co.)	亜鉛	13	生産能力
Dandi (Angouran) plant		亜鉛	18	生産能力
Zanjan Zinc Smelter		亜鉛	5	生産能力
Arak	IMIDRO(100)	アルミニウム	190	生産能力
Bafgh Zinc	Bafgh Zinc	亜鉛	30	生産能力
Qeshm Zinc Smelter	Qeshm Zinc Smelter	亜鉛	20	生産能力
Faravari Mavad Madani Iran	Iran Zinc Mine Development Co.	亜鉛	18	生産能力

(出典：USGS Minerals Yearbook 2012 等)

5. 探鉱状況

表 5-1. 探鉱プロジェクト一覧

プロジェクト名	鉱種	企業名(権益%)	備考
Dar Alou	銅	NICICO(100)	建設段階
Chah Firooz	銅	NICICO(100)	建設段階
Haft Cheshmeh	銅	NICICO(100)	FS 段階
Iju	銅	NICICO(100)	FS 段階
Kahang	銅	NICICO(100)	FS 段階
Chah Mesi	銅	NICICO(100)	開発段階
Kale Kafi	銅	—	開発段階
Dalli	銅、金	Persian Gold plc(70), Dorsa(30)	開発段階
Taknar	銅、金	Union Resources Ltd(90), Ehya Sanaye Khorasan Co(10)	FS 段階
Mehdiabad	亜鉛	Union Resources Ltd	FS 段階

(出典：各社 HP 等)



図 1. 主要鉱山、製錬所位置図

6. 我が国との関係

(1) 日本への輸出

実績なし

(2) 日本企業による投資状況等

特になし

7. その他トピックス

- ・ フィンランド Outotec 社は、2015 年 8 月、NICICO との間で、テヘランの南東約 1,000km に位置する Sarcheshmeh 銅コンプレックス及び Khatoon Abad 鉱山に係る技術提供を行う契約に締結したと公表した。
- ・ ポーランド産銅会社 KGHM の Vice President である Board Jacek Kardela 氏は 2015 年 10 月にイランを訪れ、NICICO との間で技術及び投資に係る協力関係を強化し、Khatoon Abad 銅プロジェクトへの投資と両社間の技術協力について積極的な姿勢を示した。
- ・ 2015 年 10 月のメディア報道によれば、亜鉛、金及び鉄鉱石等の 15 件のプロジェクトを海外投資家に向けて、向こう 4 ヶ月の間に国際入札にかけるとみられている。なお、この 10 月に入札 1 号案件は、テヘラン西部の Neekouyah 金鉱山開発事業とみられている。イラン政府は、海外企業の入札参加には制限を設けずとして、関心のある企業は 100 % の権益を保有することができ、またイラン政府、又はイラン企業及び海外企業との JV 事業も可能であるとしている。

(2015. 11. 30 ロンドン事務所 竹下聡美)